

ずいそう

どうなる私のモビリティーライフ

古 舘 利 幸



私の生活の中で車は欠くことの出来ないものです。通勤、買い物、レジャーにと、ほぼ毎日40年間所有し、使い続けて来ました。いつでも使える利便性、手軽な移動手段であることを考えると、車が無い生活は考えられないと思うのが正直なところです。

私は今のモビリティーライフで十分楽しめると思いますし、満足もしています。

車が普及するにつれ道路整備もされ、利便性もまりましたが、同時に環境問題、交通事故死の増加が社会問題化しました。車の改良が進み大気汚染を引き起こす事はほぼなくなり、交通事故死もピークの5分の1に減少してきました。

ITの発達で、ナビ、ドラレコ、自動ブレーキは当たり前の装備になり、車は進化し続けた結果だと思います。

昨年自動車業界は100年に1度の大変革期を迎えたと言われています。

それはCASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）と呼ばれるグローバルな動きです。それが使う側にどのような影響を与えるか、私なりにまとめてみたいと思います。

その中で今注目されているのが、自動運転と電動化だと思います。自動車メーカーに限らず開発にしのぎを削りトップランナーをめざしている分野です。

・自動運転

AI、IoTの活用で車は急速にスマート化し自動運転のレベルも上がり、レベル3の車が今年販売される段階まできています。

自動運転は6段階あり、レベル5が完全自動運転になります。レベル5は近い将来技術的にはできると思います。そうするとロボットタクシーが走る日が来るのではと勝手に想像してしまいます。開発のため色々な実験を繰り返していますが、実用化にはクリアすべき課題も残っていますので、まだまだ時間がかかりそうです。

私が体験しているのはレベル2で、追従走行が出来るくらいですが、車間距離を保ちながら、加減速は自動ですので、使用頻度はそれほど高くありません。自動ブレーキ等安全支援機能は事故防止に役立つと実感

出来ます。レベルが上がると安全性も高まることになりますので、認知機能の衰えた高齢ドライバーには運転寿命が長くなり朗報だと思います。

・電動化

日本ではハイブリット車が主流を占めていますが、電動化へのグローバルな流れが昨年決定的になりました。地球温暖化対策としてのCO₂削減が背景にあります。今後EV車は伸びていくと思われますが、問題は充電時間、一充電当りの走行距離、価格だと思います。現在一定条件化で400km超の航続距離まできていますので、自家用、業務用としては使えるレベルではないかと思います。新型バッテリーが登場すると更に伸びることになります。

また、EV車は動く蓄電池として災害時での活躍が注目され、重要度も高まっています。

電動化は内燃機関（エンジン）からモーターに変わることを意味します。エンジンに係わるメンテナンスコストが軽減され、燃費も減少することになりますが、バッテリー、モーターのメンテナンスコストを入れた維持費を考慮し、10年使うとした場合コスト高になることは間違いないと思います。

充電設備はスーパーにも設置され、買い物ついでに充電でき、道の駅にも設置され利便性は増しています。充電は15分から30分掛かりますが今後短く改善されると思います。

0エミッション、動く蓄電池等EV車の良さは充分理解できますが、コスト的には、まだ高額で、庶民には手が届かないレベルです。

値段の高いEV車しかないとしたら、レンタル、シェアリングが主流となる時代が来るかもしれません。

少子高齢化、人口減少、過疎化が進む現在、社会のニーズに合わせ、車の役割もまた変化し、その度に技術革新も生まれ進化しています。

次にくる車社会がどのように変化するか大変楽しみです。ではありますが、今後もモビリティーライフを楽しんで行きたいと思います。